

みなさん、こんにちは! 『こんにちはー!』元気いいですね。ところで、みんなに1つ質問があります。犬と猫ではどちらが好きですか? 『いぬう』『ねこお』『○×△☆~~』
じゃあ、犬の方が好きと言う人、手を上げて下さい。『はい。』ワオ。猫が好きな人?
犬が好きな人、どうして犬が好きか理由を言える人? 『かわいい。』ピンポン。
猫が好きな理由を言える人? 『かわいい。』一緒やー。
私は両方好きです。犬も猫も両方飼った事があるんです。『おお。』犬は5匹飼いました。『えー。』
猫は2匹飼ったんです。犬や猫、ペットって、ほんとに可愛いですよね。

実はアメリカの人で、犬が好きで好きでたまらなくて、とうとう犬の漫画を描いたんです。
それが世界中にヒットして、大人気になって、主人公の犬は世界一有名な漫画犬になりました。
何か分かる? スヌーピー。『あー!』知ってる?

(描いている間) 『○×△~~』(拍手) いやいやいや。それほどでも、あります。



このスヌーピーという犬はビーグル犬と言います。ビーグルって、ちっちゃいという意味なんです。

この犬は大人になっても 35センチくらいにしかならず、ずっとちっさいままなんです。だけど、体はちっさいけど、大きなものを3つ持ってます。何だか分かる?

『ミミ。』耳がおっかい。惜しい! もっと大きなもの。『かお。』顔はね、小顔やと思うわ。

『ハナ。』鼻もまあまあやと思う。

答え、言います。第1番目に声が大きいんです。遠くの方で鳴いても「あ、ビーグル犬が鳴ってる」って、よく聞こえるんですね。

2番目、何が大きい? 『からだ。』体は小さいからビーグル犬やし。ビーグル犬で、胃袋大きいんです。『えー。』なので、すごい食いしん坊の犬。1回にたくさん食べる事ができるので、1回食べただけで、1日中走り回る事ができるという犬。

3番目、体小さいのに何が大きい? 『かお?』顔はまあまあです。ビーグル犬は力が大きい。特に噛む力。引っ張る力。

声が大きくて、1回食べたら1日中走り回る事ができて、ものすごく力が強いのはなぜかという、この犬、元々ウサギを狩る犬。『えっ』イギリスという国に行ったら、森の中にたくさんの野ウサギがいて、すばしっこい野ウサギを見つけるとバーッと走って行ってブワッと。そういう、ウサギを取る犬なんです。

僕の友達にニシ君という人がいて、針中野に住んでいます。その人、僕の小学校の時の友達で、ビーグル犬を飼ってたんです。めっちゃ可愛い。ニシ君の家は大きな家で、広いお庭があって、どれくらい広いかというと、お庭の中に池がある。『えー。』そして滑り台があるんですよ。『えーっ。』どんな家や。ねえ。ビーグル犬を庭で飼うのはとっても楽しいんですが、1つ気をつけなきゃいけない事がある。

ニシ君には妹がいました。妹が飼ってたペットがウサギ。『おおー。』1つの庭でウサギとビーグル犬。両方飼ってたなら大変な事になりますよ。ビーグル犬はウサギを見たら「ウウ!」ウサギは「やめてえ!」そこで決まりがありました。ウサギの小屋に鍵がかかっている時は、ビーグル犬を放していいけど、ウサ

ギが外に出ている時は、ビーグル犬は繋いでおかなければならない。そういう決まりを作ったんです。

ある時、ニシ君の家に遊びに行って「ビーグル犬で遊ばして。」「分かった。でもウサギ、鍵かかっているか見て来るわ。」鍵かかっていたからいいだろうと、僕とニシ君とビーグル犬で遊びました。ビーグル犬は賢いから滑り台するんですよ。『えっ』『えー。』自分で上って行って。そして自分でシュー。

遊んでたけど、段々飽きて来て「ビーグル、1人で遊んで。僕はニシ君と将棋指すから。」庭で将棋指してたら、しばらくすると、(鳴き声)ビーグルの音がするけど、それが興奮してんねん。「なんや?」と思って行ったら、何とビーグル犬がウサギくわえて振り回してる。「こらーっ! 離せ!」鍵かかっていたはずなのに、いつの間にかウサギが外に出たのか、ビーグルがウサギを振り回して、体から血が出る。『あー。』取り戻したけどグツタリしてて。よく見たら死んでるんです。『えー。』
「うえー! やっちゃった…。」

その時ニシ君が僕に言いました。「高原君、この事、誰にも言わないでね。」秘密にしてって。「いや、これバレるやん。」「僕に考えがある。このウサギをきれいに砂払って、ウサギ小屋の前にそっと置いて来て。僕は犬小屋の血を拭いてきれいにするから。」「どうするん?」
「このウサギは突然死んだんだよ。」とか言うてね。「本当の事を言わないで、小屋に置いて来て。」

僕は「それ良くないよ。正直にごめんなさい言った方がいいよ。正直に言おうよ。」
「ダメダメ! これが分かったら妹が『お兄ちゃん!』怒るし、お母さんも『あんなに言ってたでしょ!』って怒るし、何よりもこのウサギ、お父さんのプレゼントなんだ。」「ひえ。』
「だから、お父さんが怒るから、ごめんなさいって正直に言えない。」
それで嫌だったけど、ウサギをきれいにして、小屋にそっと置いた。そして、2人で将棋指してた。

しばらくしたら妹が帰って来たんです。ウサギ小屋を見て「きゃー! なんでー! 昨日地面に埋めたウサギが出て来てる!」『えー。』『生きてたん?』

実はね、このウサギ、昨日の晩に死んでたんです。妹が庭に穴を掘って埋めてて、ニシ君はその時寝てた。だから、死んだ事を知らなかったの。犬が噛み殺したんじゃないんです。もう死んでたんですよ。埋めてたのを犬が掘り返して、死んだウサギで遊んでたんです。『ウソお』。

「私、昨日地面に埋めたのに、誰がここに置いたの?」(手を上げて)「はい。」「何で、そんな事したの?」
「ニシ君が頼んだから。」「お兄ちゃん、何でそんな事したの?」
彼は、自分が決まりを破ったと思ったんです。悪い事をした時、正直に「ごめんなさい」と言っても赦してもらえないと思ったから、嘘をついたんです。

みなさん、悪い事を1回もした事ないって言う人いますか? 嘘ついたり、悪口言ったり、友達のを取ったり、人の物を壊して黙ってたり、お父さん・お母さんの言いつけを聞かなかったり。今まで悪い事をした事が1回もない人って、いないと思います。もしそういう人がいたら、その人は嘘つきです。

人間は、したくないけどやっちゃう。ほんとは悪い事したくない、でもやってしまう。
悪い事をした時は、赦してもらい必要があるんです。赦してもらえると分かれると「ごめんなさい」と素直に謝れるんだけど、「赦してもらえそうにないわ」と思ったら、素直な気持ちで「ごめんなさい」が言えなくなってしまうんです。

実は、神さまという方がいるんですよ。『あ、知ってる。』

目に見えないんだけど、君たちを造った神さま、君たちの事を愛している神さま、君たちを大好きでたまらない。君たちのお父さん・お母さんを造った神さまがいます。その神さまは、みんなの悪い事や罪を赦してくれる神さまです。

赦してくれる神さまは、私たちの罪を赦すために、イエスさまという方をこの世界に送ってくれました。

もう1つだけお話して終わりたいと思います。

昔、僕はある絵本を見ました。『カバイマン』。スーパーマンじゃないですよ。

カバイマンは不思議な少年で、しょんぼりしている人の所にパッと現れる。いじめられている子供や困っている子供の所にパッと現れて、その子を助けてくれるカバイマン。ある時、ジロー君という小学5年生の男の子がいじめられていました。そしたら、カバイマンがジロー君の所にパッと出てくんねん。

クラスの人がジロー君の事をいいます。「アイツさ、全然勉強できないよね。この前テスト見たら、ジローのヤツ12点やった。」そしたら、カバイマンが「でもね、すごい一生懸命やってて、宿題は全部提出してるよ。あんなに一生懸命な子、いないと思うよ。」

他の人が「ジローってさ、スポーツ全然ダメだよね。野球、下手くそ。サッカー、下手くそ。バスケ、下手くそ。」そしたら、カバイマンが「でも彼、反則絶対しないよ。フェアプレー。彼はすごくきれいなプレーする。勝つ事よりも大事かもしれないよね。」

「でもジローって、めちゃくちゃ歌下手じゃない。音外れてて、一緒に歌っててイヤになって来る。」そしたら、カバイマンが「でもね、声大きいよ。将来応援団に入ったらいいんじゃない?」

「でもジローって、着てる服が昭和な感じで、時代遅れだし、今時あんな服着てるヤツいてないよ。」そしたら、カバイマンが「でも清潔だよ。いつも、すごくいい匂いがする。」

ジロー君はいじめられるんだけど、いつもカバイマンが一生懸命かけてくれる言葉をずっと聞いていると、段々元気になって来て、自分に自信がついて来て、生きる勇気が湧いて来た。周りの人も段々「ジローにもいいところあるよな」という風になって、ジロー君の価値が分かるようになって来たんです。

皆さん、もしクラスにカバイマンみたいな人がいたら、友達になりたいと思わない?

イエスさまはカバイマンみたいな方です。皆さんが困っている時、絶対助けてくださる方。イエスさま。イエスさまはみんなの罪を全部赦すために、今から2000年前に十字架にかかって、みんなの代わりに罰を受けてくれました。

そして、死んだだけじゃなくて、スゴイよ。絶対できない事。死んで3日目に復活したのよ。

スゴイと思わない? 死んだ後で復活できるって、神さましかできない。

そのようにしてイエスさまは、みんなの罪を全部赦すために、十字架にかかって死んで下さいました。

どうしたらいいのか? このイエスさまを自分の救い主として信じたらいいんです。

みんなも是非イエスさまを信じて、赦しと勇気をもらして下さい。

イエスさまをもっと詳しく知りたいという人は、この話には続きがあります。それは明日。

